学校法人 兵庫医科大学

# 広報

兵庫医科大学　兵庫医療大学

vol.222
2013年8月号

認定看護師教育課程(手術看護分野)開設
名誉教授称号授与、教員及び大学院生学術賞授与
ブルガリア共和国ソフィア医科大学との学術協定
薬剤部×薬学部合同イベント、リーダーズキャンプ
地域医療懇談会、病院機能評価訪問受審支援
アオノリュウゼツラン開花

vol.222. ～2013年8月25日発行～

# CONTENTS


01 認定看護師教育課程（手術看護分野）開設
03 最近の主な出来事

■兵庫医科大学
05 名誉教授称号授与
平成24年度 教員及び大学院生学術賞 授与
06 私学振興・共済事業団の学術研究振興資金贈呈
日本皮膚外科学会 最優秀発表賞・最優秀学会誌賞 受賞
07 津波避難訓練実施
内科学講座 糖尿病科と内分泌・代謝科の統合
平成25年度 教員研究費助成配分者
08 財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況
兵庫医科大学名誉教授・教授懇談会
ブルガリア共和国ソフィア医科大学との学術協定締結

■兵庫医療大学
09 名誉学長称号授与
名誉教授称号授与
全国同時七夕講演会2013
10 兵庫医療大学×兵庫医科大学病院薬剤部合同イベント開催
11 平成25年度 入学生・在学生特別奨学生証授与式
地震・津波防災訓練実施
12 平成25年度 リーダーズキャンプ実施
財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

■兵庫医科大学病院
13 第13回 地域医療懇談会開催
兵庫県看護協会長賞受賞
14 ふれあい看護体験
兵庫医大フロンティア医療セミナー

■ささやま医療センター
ささやま老人保健施設
15 病院機能評価 訪問受審支援実施
ささやま老人保健施設　七夕会
16 兵庫県看護功績賞 受賞
新看護師等宿舎建設 着工

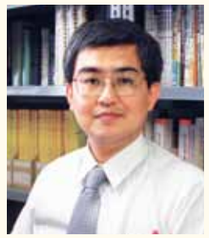
■学校法人兵庫医科大学
17 事務局管理職会議 開催
理事・評議員の異動
平成25年度 学校法人兵庫医科大学常勤理事の業務担当
18 アオノリュウゼツラン開花
うちわの作製・配布
19 40周年記念事業募金へのご寄付に際して
兵庫医科大学開学40周年記念事業募金 状況報告
20 報道機関等への出演・掲載
21 規程等の制定・改正・廃止
22 9月～10月主な行事予定
ご意見お問合わせ




## 学校法人兵庫医科大学　医療人育成センター

# 認定看護師教育課程（手術看護分野）開設

学校法人兵庫医科大学　医療人育成センターに、平成25年度10月より認定看護師教育課程（手術看護分野）を設置します。
手術看護分野の教育課程は、これまで日本では東京女子医科大学の1施設にしかなく、本学での設置が日本で2施設目、西日本では初の施設となります。



## 認定看護師教育課程設置
## ー看護・医療の質向上とキャリア支援を目指してー

副学長（教育担当）
医療人育成センター長
鈴木 敬一郎

手術看護分野認定看護師教育課程が本法人の医療人育成センターに開設される運びとなりました。皆さんは手術看護についてどのようなイメージを持たれているでしょうか。外科医と並んで術野に向かい、メスを差し出したり吸引を行う凛々しい看護師の姿が目に浮かぶかもしれません。しかしこれは手術看護のごく一部に過ぎません。手術看護は術前のケア、心理サポートに始まり、手術侵襲の軽減、医療安全、感染予防、術後管理、合併症予防など多岐にわたります。認定看護師は医療チーム間のコミュニケーションやチームマネジメント、看護師指導まで行います。高度で先進的な手術が増加する昨今、手術看護の質向上は医療の質向上に直結します。本課程は、兵庫医科大学、兵庫医科大学病院、兵庫医療大学看護学部の支援を受け、学外からも素晴らしい講師陣を迎え大変充実したカリキュラムになったと自負しています。実地研修も兵庫県と大阪府で高度な手術を行う１５病院で実施予定です。また医療人育成センターとしましては、本課程がキャリア支援の一助になればと考えています。開設場所は１号館４階でシミュレーションセンターも隣接しています。修了した看護師の皆さんが現場に戻って一層活躍し、看護と医療の質の向上に寄与して頂くことを期待しております。

最後になりましたが、親身なアドバイスを賜った東京女子医科大学の皆様、御協力頂いた関係各位、申請・開設に献身的に取り組んだ事務スタッフの皆さんに深謝いたします。

### 教育理念

安全で質の高い医療を行い、地域社会に貢献する兵庫医科大学の理念を基盤として、常に社会と医療の動向に目を向け、その要請に応じて良質の看護を提供できるよき医療人を育成する。

そのための基本方針
1. 人権を尊重し患者の立場に立った医療の実践者である
2. 人間性豊かな、優れた医療人である
3. 高度で、先進的な医療の推進者となる
4. 健康増進活動による保健・福祉の推進者となる
5. 地域医療機関との円滑な連携が取れる人である

### 教育目的

熟練した技術と知識を用いて、水準の高い看護が実践できる手術看護分野の認定看護師を育成する。

そのための基本方針
1. 手術患者の安全と人間性の尊重を守る
2. 手術患者の治癒力と健康回復への気力を高めるための技術を養う
3. 関連箇所との連携を考えた周術期の継続看護の充実を図る
4. 自己研鑽を重ね認定看護師を目指して能力向上に努める

### 募集人数・開講時期

※本年度の募集は終了しています。

募集人数：手術看護分野　30名
開講時期：10月1日～3月31日の6か月間
（本年度のみ平成25年10月15日～平成26年3月31日）

### ※「認定看護師」とは

認定看護師とは、公益社団法人日本看護協会が、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる認定看護師を社会に送り出すことにより、看護現場における看護ケアの広がりと質の向上をはかることを目的として発足した制度です。手術看護分野を含め21分野の認定看護分野があり、全国で12,522名（2013年7月現在：日本看護協会発表）の認定看護師がおり、兵庫医科大学病院でも12分野21名の認定看護師が活躍しています。

### ※認定看護師の役割

認定看護師は特定の看護分野において、以下の3つの役割を果たします。

1. 個人、家族及び集団に対して、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する。（実践）
2. 看護実践を通して看護職に対し指導を行う。（指導）
3. 看護職に対しコンサルテーションを行う。（相談）

### 認定看護師資格取得までの流れ

日本国の看護師免許を保有していること
↓
実務経験5年以上
（うち3年以上は認定看護分野の経験）
↓
認定看護師教育課程修了
（6ヶ月・615時間以上）
↓
認定審査（筆記試験）
↓
**認定看護師認定書交付・登録**

# 最近の主な出来事

## 6月 June

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | ■兵庫医療大学 | 兵庫医科大学病院薬剤部・兵庫医療大学薬学部合同イベント | →P10 |
| 3 | ■兵庫医科大学 | 津波避難訓練 | →P7 |
| | ■兵庫医科大学病院 | 運営方針説明会 | |
| 5 | ■兵庫医科大学病院 | 市民健康講座「胸やけのことをもっと知ろう」 | |
| 6 | ■兵庫医療大学 | 学術講演会「来る南海トラフ巨大地震という「国難」と対策」関西大学社会安全学部 社会安全研究センター長・教授 河田 惠昭 先生 | →P4 |
| 13 | ■兵庫医科大学病院 | 第11回　フロンティア医療セミナー | →P14 |
| | ■兵庫医科大学病院 | 放射線技術部と臨床検査技術部合同勉強会 | →P3 |
| 15 | ■兵庫医科大学病院 | 第13回　地域医療懇談会 | →P13 |
| 15～16 | ■兵庫医療大学 | リーダーズキャンプ | →P12 |
| 25 | ■兵庫医科大学 | 学術講演会「死にゆく人々のケアーホスピスでの経験から－」学校法人金城学院 学院長 柏木 哲夫 先生 | |
| | ■ささやま老人保健施設 | 病院機能評価 訪問受審支援 | →P15 |
| 26 | ■兵庫医科大学病院 | 市民健康講座「造血幹細胞移植について」 | |
| | ■兵庫医療大学 | 平成２６年度 高等学校等教員対象入試説明会 | →P4 |
| 28 | ■学校法人兵庫医科大学 | 事務局管理職会議 | →P17 |
| | ■兵庫医科大学 | 学術講演会「来る南海トラフ巨大地震という「国難」と対策」関西大学社会安全学部 社会安全研究センター長・教授 河田 惠昭 先生 | →P4 |

## 7月 July

| | | | |
|---|---|---|---|
| 3 | ■兵庫医療大学 | 地震・津波防災訓練 | →P11 |
| 5 | ■兵庫医科大学 | 文部科学省高等教育局医学教育課長ご来学 | →P3 |
| 6 | ■兵庫医科大学 | 名誉教授・教授懇談会 | →P8 |
| 10 | ■兵庫医療大学 | 平成25年度入学生・在学生特別奨学生証授与式 | →P11 |
| 11 | ■兵庫医科大学病院 | 第12回　フロンティア医療セミナー | →P14 |
| 8～12 | ■兵庫医科大学 | 第1学年次　早期臨床体験実習Ⅰ | |
| 8 | ■兵庫医科大学 | 平成２６年度 入試教員（高校・予備校）向け説明会 | →P4 |
| 10 | ■ささやま老人保健施設 | 七夕会2013～宇宙の大きさ～ | →P15 |
| | ■兵庫医科大学病院 | 市民健康講座「肝硬変と栄養」 | |
| 12 | ■兵庫医療大学 | 七夕講演会 | →P9 |
| 20～21 | ■兵庫医科大学 | 医学教育　ミニ・ワークショップ | |
| 24 | ■兵庫医科大学病院 | 市民健康講座「採血を受けていただくにあたって」 | |
| 25 | ■兵庫医科大学病院 | ふれあい看護体験 | →P14 |
| 27 | ■兵庫医科大学病院 | 平成26年度 臨床研修医採用試験 | |

### 6/13 ■兵庫医科大学病院 放射線技術部と臨床検査技術部の合同勉強会開催

放射線技術部と臨床検査技術部の合同勉強会は、開催4回目を迎えます。部門を超えて集まり、ひとつの症例に対して様々な視点からアプローチし、業務の視野を広げることで、患者さんへ還元することを目的としているものです。これまでほとんど知ることのなかった他部署の業務内容を知り、それぞれの仕事に対する理解を相互に深めながら、チーム医療を実践できるような体制を整えています。

### 7/5 ■兵庫医科大学 文部科学省高等教育局医学教育課長ご来学

文部科学省高等教育局医学教育課の村田医学教育課長が兵庫医科大学を訪問され、本学の教育及び病院の現状を視察されました。太城病院長のご案内の下急性医療総合センターを見学され、ＮＩＣＵ、手術センター、救命救急センター、ＩＶＲセンターなど大変興味深く見学されました。

急性医療総合センターの見学の後は、新家理事長、波田副理事長、坂元常務理事、中西兵庫医科大学学長、太城病院長、馬場兵庫医療大学学長や理事の方々、事務部長などを含め第１会議室で懇談会が開催されました。懇談会では、村田医学教育課長より「医学教育の今後の動向」と題し、医学教育の改善・充実や、診療参加型臨床実習の充実についてなど、今後の医学教育の推進に向けた大変興味深いお話しを伺うことができました。

### 6/26 ■兵庫医療大学 平成２６年度　高等学校等教員対象入試説明会

Ｍ１１３講義室にて平成２６年度高等学校等教員対象入試説明会を開催しました。説明会当日は、あいにくの雨にもかかわらず高等学校の進路指導教員２９校２９名と、予備校の教員６校８名の先生方に出席いただき、昨年度の入試総括や今年度の入試概要、各学部の紹介や取り組みについて説明を行いました。説明会後には、個別相談コーナーを設けて様々な疑問点を解消していただくとともに、希望に応じて学内の施設を見学していただきました。

### 7/8 ■兵庫医科大学 平成２６年度　入試教員（高校・予備校）向け説明会

第２会議室にて、高等学校及び予備校の先生方を対象とした入試説明会を開催しました。高等学校は２４校２４名、予備校は１３校１９名の先生方にご参加いただき、若林教務部長からの挨拶の後、関入試センター長から平成２６年度入試の概要について、続いて鈴木医学教育センター長から学習支援制度についての説明を行いました。

質疑応答や、希望される先生方には個別相談・キャンパス見学などを行い、受験生を送り出す先生方にも兵庫医科大学を深く知っていただく機会となりました。

### 6/28 ■兵庫医科大学 学術講演会

関西大学社会安全学部 社会安全研究センター長の河田惠昭教授をお迎えし、平成２５年度兵庫医科大学学術講演会『来る南海トラフ巨大地震という「国難」と対策』が開催され、一般の方や本学教職員・学生約５３６名が参加しました。

河田先生には、地震の歴史、巨大地震についての対策、地域住民とどのように協働していくのかなどを明快にお話しいただき、会場に来られた方々は熱心に耳を傾けていました。

また、同講演は６月６日兵庫医療大学でも開催され、一般の方や本学教職員・学生約３５０名の参加がありました。

TOPICS

## オープンキャンパス開催

兵庫医科大学：８月２日（金）、８月２０日（火）
兵庫医療大学：８月１０日（土）、８月１１日（日）
８月２４日（土）、８月２５日（日）

兵庫医科大学、兵庫医療大学でそれぞれオープンキャンパスが開催され、今年度もたくさんの方々にご参加いただきました。
（詳細は次号広報223号にて掲載します）

## 名誉教授称号授与

平成２５年4月1日付けで、5名の方に兵庫医科大学名誉教授の称号が授与されました。

**村岡 良和** 前主任教授　（数学講座）
（平成２５年３月３１日定年退職）

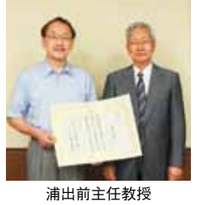
**浦出 雅裕** 前主任教授　（歯科口腔外科学講座）
（平成２５年３月３１日定年退職）

**寺田 信行** 前主任教授　（病理学講座（機能病理部門））
（平成２５年３月３１日定年退職）

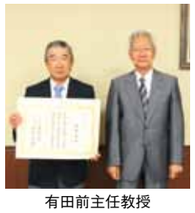
**有田 憲生** 前主任教授　（脳神経外科学講座）
（平成２５年３月３１日退職）

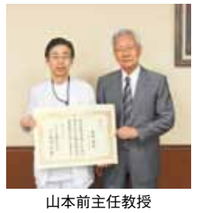
**山本 徹也** 前主任教授　（内科学講座（内分泌・代謝科））
（平成２５年３月３１日定年退職）

村岡前主任教授


浦出前主任教授

寺田前主任教授


有田前主任教授


山本前主任教授

## 平成２４年度　兵庫医科大学 教員及び大学院生学術賞　授与

平成２５年7月4日の教授会の席において、平成２４年度兵庫医科大学教員学術賞及び大学院生学術賞の授与式が行われ、学長から教員学術賞については表彰状と副賞（奨励金）が、大学院生学術賞については表彰状と記念品が贈られました。

学術賞受賞の様子

**・教員学術賞・**

病原微生物学 講師
**内山 良介**

**・大学院生学術賞・**

医科学専攻 器官・代謝制御系
上部消化管疾患学
**山崎 尊久**

医科学専攻 器官・代謝制御系
呼吸器外科学
**米田 和恵**





## 先端医学研究所の幹細胞研究に 私学振興・共済事業団の 学術研究振興資金が贈呈されました

先端医学研究所・神経再生研究部門　教授
**松山 知弘**

先端医学研究所神経再生研究部門の松山を研究代表者として応募した「脳卒中の再生療法に有効な幹細胞の選定」が日本私立学校振興・共済事業団の平成２５年度（第３８回）学術研究振興資金に係る研究（助成金：４００万円）に採択され、5月１７日に東京ガーデンパレスで贈呈が行われました。

この資金は、同事業団が広く一般から受け入れた寄付金を基金として運用し、その運用益により社会的要請の強い学術研究を助成し、もって特色ある学術研究の振興に寄与するために、私立の大学、短期大学及び高等専門学校に交付されるものです。本年度は「人文・社会科学系」「理工系、農学系」「生物学系、医学系」「若手研究」の各分野合わせて９５件の研究が採択され、本課題は「生物学系、医学系」の代表として授与されました。

脳血管障害の再生医療に対しては近年様々な幹細胞の応用がなされてきていますが、効果発現のメカニズムやいかなる幹細胞分画が有効であるかの基礎研究は十分であるとは言えません。今回の採択課題は、神経再生研究部門で発見された内因性幹細胞（傷害誘導性神経幹細胞）の研究で解明されてきた幹細胞の起源や分化メカニズムの基礎研究成果を基にしております。本研究が採択された背景には科学的根拠をもった再生医療の確立に対する大きな期待が込められていると思います。

主任研究者：　松山　知弘（先端医学研究所・神経再生研究部門：教授）
共同研究者：　小川　啓恭（内科学血液内科：主任教授）
藤盛　好啓（輸血部：准教授）
田口　明彦（財団法人先端医療振興財団　先端医療センター：部長）

## 日本皮膚外科学会 最優秀発表賞・最優秀学会誌賞ダブル受賞

皮膚科 講師　**伊藤 孝明**

平成２４年９月１～２日に、岩手県民会館にて開催された第２７回日本皮膚外科学会総会・学術集会において、ビデオ演題として発表した「下肢静脈疾患の診断法」が日本皮膚外科学会元気賞最優秀発表賞を受賞しました。また同じタイトルで日本皮膚外科学会誌第１７巻１号に投稿し元気賞最優秀学会誌賞に選ばれ、平成２５年７月１４日の第２８回同学会総会（大津市）において、初のダブル受賞の形で表彰されました。

日本皮膚外科学会は、昭和６１年に本学と神戸大学の皮膚科が催した「皮膚外科勉強会」として始まり、その後全国規模となったため日本皮膚外科学会に改称し、今年度に特定非営利活動法人になる学会です。本学会の「元気賞」は、初代会長が「患者さんと医療者がともに元気になるように」と企画した学会賞で、今回で３回目となります。

受賞した「下肢静脈疾患の診断法」は、下肢静脈瘤や、現在未だ診断の難しい下肢深部静脈血栓症後遺症の診断を、ドプラ聴診器を用いて簡便に診断する方法を考案し、それを詳しく報告したものです。今後もさらに検討を重ねるとともに、この診断法を普及させていきたいと考えています。

受賞式にて大原國章会長（左）と

## 津波避難訓練を実施しました

巨大地震とそれに伴う巨大な津波の襲来を想定した訓練が平成２５年６月３日、第１・第２学年次合同で実施されました。学生たちは３-１講義室（第１学年次）と３-２講義室（第２学年次）から出発し、９号館の非常階段を上り、避難場所の９号館５階の９-１講義室へ移動しました。当日は「西宮キャンパス津波災害対策マニュアル」に準じ、担当講座からも救助応援を要請し、危機管理担当の波田副理事長、学生部長、教務部長立会いの下、避難訓練を実施しました。

## 内科学講座　糖尿病科と内分泌・代謝科の統合
**(平成２５年4月1日施行)**

内科学講座組織の現状を精査し、教育・診療・研究体制の強化・充実を図ることを目的として、平成２５年4月1日より糖尿病と内分泌・代謝科を統合し、糖尿病・内分泌・代謝科と改称になりました。

| 改正前 | | 改正後 | |
|---|---|---|---|
| 臨床医学系講座 | | 臨床医学系講座 | |
| 内科学 | （循環器内科）<br>（冠疾患科）<br>（血液内科）<br>（リウマチ・膠原病科）<br>（糖尿病科）<br>（肝・胆・膵科）<br>（内分泌・代謝科）<br>（上部消化管科）<br>（下部消化管科）<br>（呼吸器・RCU科）<br>（神経・脳卒中科）<br>（腎・透析科）<br>（総合診療科） | 内科学 | （循環器内科）<br>（冠疾患科）<br>（血液内科）<br>（リウマチ・膠原病科）<br>（糖尿病・内分泌・代謝科）<br>（肝・胆・膵科）<br>（上部消化管科）<br>（下部消化管科）<br>（呼吸器・RCU科）<br>（神経・脳卒中科）<br>（腎・透析科）<br>（総合診療科） |

## 平成２５年度教員研究費助成配分者

| 氏　名 | 所属講座等 | 年齢 | 職　名 | 研究課題 | 所属長 |
|---|---|---|---|---|---|
| 八木　秀司 | 解剖学（神経科学部門） | 46 | 准教授 | 神経細胞の機能に関わる棘突起の新たな形態調節機構の探求 | 野口　光一 |
| 荒田　晶子 | 生理学（生体機能部門） | 53 | 准教授 | 橋結合腕傍核における感覚入力-運動出力機構の解明 | 越久　仁敬 |
| 西本　高明 | 生理学（生体情報部門） | 36 | 助教 | リノール酸誘導体DCP-LAによるうつ病の改善効果とその作用発現メカニズムの解明 | 西崎　知之 |
| 北中　順惠 | 薬理学 | 41 | 講師 | 覚せい剤メタンフェタミン依存形成に対する生体内物質アグマチンの作用 | 竹村　基彦 |
| 江口　良二 | 環境予防医学 | 33 | 助教 | 悪性腫瘍が誘導する血管新生因子の同定とその作用機序の解明 | 若林　一郎 |
| 中野　芳朗 | 遺伝学 | 54 | 准教授 | ヘッジホッグ情報伝達系の腫瘍形成における役割の研究 | 玉置　知子 |
| 大山　秀樹 | 病理学（機能病理部門） | 49 | 准教授A | IL12RB2転写制御領域の多型に基づいた結核およびその他抗酸菌感染症に対する感受性診断およびその制御機構に関する研究 | 中正　恵二 |
| 相馬　俊裕 | 内科学（血液内科） | 63 | 臨床准教授 | 胎盤造血ニッチの解明と生下後胎盤組織より効率的に造血幹細胞を回収する方法の開発 | 小川　啓恭 |
| 松井　聖 | 内科学（リウマチ・膠原病科） | 54 | 准教授 | 関節リウマチにおけるIL-33の病因的意義の解析と治療法の確立 | 佐野　統 |
| 庄司　拓仁 | 内科学（糖尿病・内分泌・代謝科） | 39 | 講師 | 終末糖化産物受容体による肝臓の糖・脂質代謝調節とその機序の解明 | 難波　光義 |
| 森本　剛 | 内科学（総合診療科） | 42 | 臨床教授 | 医原性有害事象の臨床疫学 | 立花　久大 |
| 髙田　康弘 | 放射線医学 | 39 | 助教 | 放射線治療画像を利用した患者位置確認システムにおける精度限界と安定性に関する研究 | 廣田　省三 |
| 山野　智基 | 外科学（下部消化管外科） | 47 | 講師A | 大腸癌における異なるオキサリプラチン耐性メカニズムの比較検討 | 冨田　尚裕 |
| 小坂　久 | 外科学（肝・胆・膵外科） | 39 | 助教 | 術後膵瘻発生率の低減を目指した膵切除術の基盤研究 | 藤元　治朗 |
| 藤原　敏宏 | 形成外科学 | 37 | 助教 | 皮膚創傷治癒における活性酸素の影響 | 垣淵　正男 |
| 東郷　容和 | 泌尿器科学 | 36 | 助教 | 腎細胞癌における生殖細胞系列染色体構造と3pコピー数異常との関連解析 | 山本　新吾 |
| 友金　祐介 | 脳神経外科学 | 40 | 学内講師 | MRI PRESTO法にて脳腫瘍の増大予測は可能となるか？ | 泉本　修一 |
| 桂　弘和 | 耳鼻咽喉科学 | 35 | 学内講師 | 中耳手術後の舌知覚障害と三叉神経節におけるMAP kinaseの機能解析 | 阪上　雅史 |
| 山村　倫世 | 歯科口腔外科学 | 35 | 助教 | 腫瘍と間質の相互作用におけるTGF-β(transforming growth factor-β),sonic hedgehogの働き | 岸本　裕充 |
| 藤盛　好啓 | 輸血部 | 59 | 准教授 | Aldehyde dehydrogenase(ALDH)活性による臍帯血造血幹細胞活性の測定と臍帯血移植への応用 | 甲斐　俊朗 |
| 中込　隆之 | 先端医学研究所（神経再生研究部門） | 41 | 講師 | ヒト大脳皮質由来血管周皮細胞株を用いた傷害誘導性神経幹細胞作製に関する研究 | 松山　知弘 |

【配分額】　１件当たり１，１４８，０００円（２年間で使用する）　（今年度予算：２４，１０８，０００円）





## 財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

（単位：千円）

| 助成団体名 | 研究課題名 | 研究者 | 交付額 |
|---|---|---|---|
| (公財)内藤記念科学振興財団 | Fas-mediated inflammatory response in *Listeria monocytogenes* infection | 内山　良介 | 350 |
| (公財)循環器病研究振興財団 | 危険因子と発症様式から見た日本人糖尿病患者における脳血管障害の臨床疫学 | 森本　剛 | 2,500 |
| (公財)三菱財団 | 頭頸部がん術後の永久失声患者に対する携帯型タブレット端末を用いた代用音声作成アプリケーションの開発 | 野口　一馬 | 3,500 |

## 兵庫医科大学名誉教授・教授懇談会

平成２５年７月６日、ヒルトン大阪において兵庫医科大学名誉教授・教授懇談会が開催されました。

平成１９年より開催されている本会も、今年で７回目となり、今年は名誉教授から１７名、法人役職者４名、現役教授２１名の合計４２名が出席されました。

参加者全員による記念撮影の後、開宴し、始めに昨年の開催日より１年間でご逝去されました名誉教授６名、現役教授１名の冥福を祈り、黙祷が捧げられました。

続いて、新家理事長の都合上の欠席をうけて、波田副理事長、中西学長から、現在までの大学へのご支援への御礼と、開学４０周年後は次の世代にむけて歴史を刻むことが我々の使命であり、今後ともご支援ご協力をお願いしますとの挨拶がありました。続いて太城病院長から急性医療総合センターについて説明と乾杯の発声の後、食事をしながらの歓談の時間となりました。参加者一人一人からは大学への期待や近況報告、今後の社会への奉仕や活動などを披露していただきました。ウィットに富んだ話題も多く、終始和やかな会となりました。最後に福田ささやま医療センター病院長からの閉会の挨拶で締めくくり、盛会のうちに散会となりました。

## ブルガリア共和国
## ソフィア医科大学との学術協定の締結について

平成２５年５月１４日付けで、ブルガリア共和国にあるソフィア医科大学と学術協定を締結しました。

ソフィア医科大学の歴史は古く１９１７年フェルディナンド国王の指示で設立され、現在までに約５２，０００名もの医療従事者を輩出しています。医学部、歯学部、薬学部、公衆衛生学部の４学部をもち、６，５００名の学生のうち、１，６００名が留学生というグローバル大学です。

現在、兵庫医科大学大学院でソフィア医科大学の卒業生が学んでおり、今後は共同研究や学生・教員及び研究者の交流など、大きく発展することが期待されます。

FACULTY OF MEDICINE（ソフィア医科大学案内より）

兵庫医科大学とソフィア医科大学との学術交流に関する協定書

## 名誉学長称号授与

平成２５年４月１日付けで、松田 暉 前兵庫医療大学長に兵庫医療大学名誉学長の称号が授与されました。

**松田 暉** 前学長

（平成２５年３月３１日退任）

## 名誉教授称号授与

平成２５年４月１日付けで、次の４名の方々に兵庫医療大学名誉教授の称号が授与されました。

**佐藤 禮子** 前教授　（看護学部）

（平成２５年３月３１日定年退職）

**磯部 孝彦** 前教授　（共通教育センター）

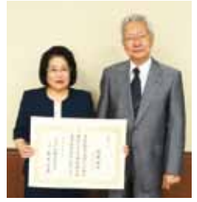
（平成２５年３月３１日定年退職）

**西原 力** 前教授　（薬学部）

（平成２５年３月３１日退職）

**土居 洋子** 前教授　（看護学部）

（平成２５年３月３１日定年退職）



佐藤前教授

磯部前教授

西原前教授

土居前教授

## 全国同時七夕講演会２０１３　～宇宙の大きさ～

Ｍ１１３講義室にて今年で５回目を迎える「全国同時七夕講演会」が開催され、共通教育センターの加藤精一准教授が講演を行いました。今回の講演会では「地球をバレーボールの大きさとすると、月の大きさはテニスボールぐらい」というように、天体や宇宙の大きさなどを、身近な様々なものに例えて分かりやすく解説がありました。在学生や、地域の方々にも多く参加いただき、最後まで熱心に話を聞かれていました。当日は天候も良く、講演の後には七夕の時期によく見える星などの天体観測も行いました。

兵庫医療大学

## 兵庫医療大学薬学部×兵庫医科大学病院薬剤部　合同イベント「“絶対に”他では聞けない！？“クスリ”の話」を開催

平成２５年６月１日（土）、兵庫医科大学において「"絶対に"他では聞けない！？"クスリ"の話」と題したイベントを開催しました。このイベントは、薬学部を目指す高校生を対象に、より一層薬学に興味を持ってもらいたいという想いから、兵庫医療大学薬学部と兵庫医科大学病院薬剤部が合同で企画・実施しているもので、今年で４回目を迎えます。

イベントは３部で構成され、各部ともに"クスリ"の世界を分かりやすく紹介しました。

### 第１部　兵庫医療大学　薬学部教員によるミニ講義

#### 「薬学部の化学研究」

甲谷 繁 講師（兵庫医療大学薬学部：物理化学）

薬はどのように作られるのか、またその薬は体の中でどのように作用するのかをイラストや写真を用いながらわかりやすく説明していただきました。

また、これらの薬を研究する様々な分野のことや、薬ができるまでの化学的なお話とともに、最先端の科学機器についても紹介いただきました。

兵庫医療大学薬学部の学生が実習している風景も写真で紹介するなど、化学の面白さを知っていただくいい機会になったのではないでしょうか。

#### 「ナノって何ナノ！？」

三浦 大作 助教（兵庫医療大学薬学部：毒性学）

最近テレビＣＭ等で、「ナノ」という言葉が頻繁に使われるようになりましたが、そもそも「ナノ」とはどういうもので、私たちの生活にどのような影響を与えているのか、そして、この「ナノ」が薬学とどのように結びついているのかなど、ナノ物質が用いられた身近な品物を参加した高校生に実際に手に取ってもらいながら、分かりやすく説明していただきました。

### 第２部　兵庫医科大学病院　薬剤部で働く薬剤師とのフリートーク

#### 「新人薬剤師の今」

兵庫医科大学病院の薬剤部に今年就職した兵庫医療大学薬学部の１期生に登場いただき、新人薬剤師として働く今の状況を、苦労談などを交えながら学生目線で高校生に語りかけていました。

#### 「災害における薬剤師の仕事」

東日本大震災直後に兵庫医科大学病院からＤＭＡＴ（災害派遣医療チーム）・救護医療チームの一員として派遣された薬剤師から、当時の現地での医療活動状況が紹介され、薬剤師として活躍する場は意外と広いことが分かりました。

### 第３部　兵庫医科大学病院薬剤部見学会

事前に参加申し込みをされた高校生を対象に兵庫医科大学病院薬剤部の見学会が行われました。薬剤部の内部見学は、現場で働いている兵庫医科大学病院の薬剤師（兵庫医療大学薬学部１期卒業生）が案内し、調剤方法や薬剤を投与する際の注意点など日常における薬剤師業務について具体的なお話があり、高校生はとても興味深く耳を傾けていました。

## 平成２５年度　入学生・在学生特別奨学生証授与式

平成２５年度入学生・在学生特別奨学金(注)の奨学生５１名(全学部全学年)に対する奨学生証の授与式が、平成２５年７月１０日(水)にＭ１０７講義室で行われました。

冒頭に、この奨学金制度創設に携わってこられた馬場学長からお話しがあり、奨学生として自覚をもって、兵庫医療大学の学生として恥じないような学生生活を送ってください、との言葉が奨学生に贈られました。その後、各学部の奨学生は、それぞれ西山薬学部長、竹田看護学部長、藤岡リハビリテーション学部長から奨学生証と記念品のクリスタル文鎮が授与されました。

奨学生には、大学の発展のため、勉学とともに各種大学行事においても活躍されることを期待します。

(注記)
この奨学金は、入試成績上位者に対して初年度学費を全額免除するもの(次年度以降も成績上位を維持すれば継続して全額免除)と、２年次以降の在学生に対して、各学部各学年の成績上位者を在学生奨学生として認定し、その年度の学費を半額免除するものがあります。

## 地震・津波防災訓練を実施

平成２５年７月３日に地震・津波防災訓練を実施しました。近い将来に東海・東南海地震の発生が予想される中、兵庫県瀬戸内海沿岸部のポートアイランドに位置する本学キャンパスでは、地震による直接的な被害のみならず、この地震によって引き起こされる津波による災害も危惧されることから、学生・教職員等の安全確保のために昨年より訓練を行っています。

当日は、海溝型地震が５時限目終了間際に発生したという想定のもと、オクタホールとＭ１０７講義室で授業を受けていた在学生約２６０名と、教職員約２０名が避難訓練に参加しました。校内放送で大地震発生がアナウンスされると、大学は直ちに災害対策本部を設置し、学生は教職員の避難誘導のもと、速やかに一次避難場所であるＧ棟南グラウンド(訓練当日は雨天のためＰ棟１階)へ避難しました。その後、津波警報が発令されたことを受け、今度はＭ棟４階の二次避難場所へ移動する訓練も行いました。今後も防災への意識を常にもちつつ継続的に訓練を実施していきます。

## 平成２５年度　兵庫医療大学リーダーズキャンプを実施

課外活動及び学生会活動の主体となる学生会執行部、大学行事実行委員会、公認課外活動団体幹部学生のリーダーを中心に各活動の活性化やリーダーシップの養成を目的としたリーダーズキャンプが、兵庫県三木市にあるグリーンピア三木において、平成２５年６月１５日(土)、１６日(日)の１泊２日で実施されました。

各団体のリーダーである学生たちは、この２日間にグループワークや討議などのプログラムに取り組み、リーダーとしての役割について学びました。

### ■グループワーク「おもしろレジャーランド」

グループワークを通じて、リーダーシップとは何かを学び、メンバーがお互いに与える影響や、自分自身におけるリーダーシップの行動特徴がどのようなことなのか、客観的に認識できるプログラムに取り組みました。

### ■グループ討議・発表

討議テーマの選定について、学生会を中心に検討が行われ、各団体より提出された意見をもとに、４つの討議テーマを設定しました。

「次の新しいリーダーを育成するにあたって直面している問題点と、それを解決するにはどのような方法が考えられるか」のテーマでは、引き継ぎがうまくいかないことが問題点として挙げられ、解決策として団体内でコミュニケーションを密に取ることや、マニュアルを作成・整備するなどの解決策が挙がっていました。

このリーダーズキャンプは、当初は大学が主体となって実施していましたが、回を重ねるごとに学生会や課外活動団体も積極的に運営に携わるようになってきました。参加した学生は「各課外活動団体がリーダーズキャンプ終了後に何を行い、変えていくのかということを継続して話し合えば、より充実したものになるのではないか」など、前向きな意見を聞くことができました。

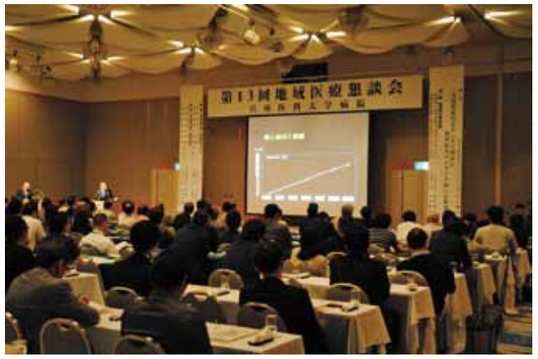
今後も引き続き学生の人材養成の一環として取り組んでいきます。

## 財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

(単位：千円)

| 助成団体名 | 研究課題名 | 所属部局 | 研究代表者 | 交付額 |
|---|---|---|---|---|
| (独)医薬基盤研究所(先駆的医薬品・医療機器研究発掘支援事業) | PCA-1を分子標的とする前立腺癌、膵臓癌治療創薬に向けてシード化合物の構造活性相関情報に基づく化学修飾による最適化と天然由来シード化合物の探索 | 薬学部 | 青木　俊二 | 9,000 |
| 一般財団法人杉浦地域医療振興財団(杉浦地域医療振興助成金) | 薬剤による嚥下障害の実態調査と危険因子の分析<br>摂食嚥下認定看護師・臨床薬剤師と介護者の連携による早期発見と対応マニュアルに向けて | リハビリテーション学部 | 野﨑　園子 | 1,800 |
| 一般社団法人日本摂食・嚥下リハビリテーション学会(研究助成金) | パーキンソン病のメトロノームによる嚥下訓練　-呼吸と嚥下の同期性に関する検討- | リハビリテーション学部 | 野﨑　園子 | 200 |
| 計(3件) | | | | 11,000 |

## 第１３回地域医療懇談会　開催




平成２５年６月１５日(土)午後４時から、ノボテル甲子園(西宮)において「第１３回地域医療懇談会」を開催いたしました。

同懇談会は近隣医師会及び地域医療機関との連携を深めるため、平成６年に第１回を開催し、今回で第１３回目を迎えました。

懇談会では、「急性医療総合センター開設と救命救急センターの新たな展開」をテーマとして、①阪神間の救急医療、②救急疾患治療・救命救急センター、③救急疾患治療・関連診療科の３部構成で、西宮市消防局と学内６人の演者の方から講演をいただきました。当日は、医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、事務など、過去最多の１４７名(学外９８名、学内４９名)のご出席をいただきました。

懇談会終了後の懇親会にも多数のご出席と、同日開催された尼崎市医師会定時代議員会で就任が決まった、黒田佳治尼崎市医師会会長(兵庫医科大学２期生)のご紹介もあり、盛会のうちに終了いたしました。

## 兵庫県看護協会長賞　受賞

平成２５年６月９日に開催された平成２５年度公益社団法人兵庫県看護協会定時総会において、山田繁代人材対策室長(前看護部長)と１０-５病棟の松本豊美看護師長が、兵庫県看護協会長賞を受賞しました。この賞は今年度より新たに設けられたもので、兵庫県看護協会の発展に功績のあった方々を表彰するものです。

受賞にあたり、山田人材対策室長は「大勢の方々に支えられて長年看護の仕事を続けることができ、このような賞を頂きました。支えて下さった皆さんに感謝致します。」と受賞への感謝の言葉を述べられました。松本看護師長は「助産師職能委員会の活動が表彰に繋がったと思います。助産師職能委員会で他施設との交流や知識の普及を行うことができ、大変勉強になりました。今回の受賞は看護部からのバックアップとスタッフの協力のおかげだと思います。皆さんの支援に感謝致します。」と受賞の喜びを述べられました。

山田 繁代 人材対策室長

松本 豊美 看護師長



兵庫医科大学病院

## ふれあい看護体験

２１世紀は、少子高齢化の時代と言われています。来たるべき超高齢化社会を支えて行くためには、国民一人ひとりが、看護の心を理解し分かち合っていくことが大切です。わが国でも旧厚生省による１９９０年の「看護の日」制定を皮切りに、「看護の日記念イベント」「看護の出前授業」「ふれあい看護体験」等、毎年各地で様々な催しが行われています。

本学では５月１４日に引き続き、７月２５日に「ふれあい看護体験」を開催しました。

「ふれあい看護体験」は、学生や一般の方々に病院の医療現場をより知っていただくため、見学や簡単な看護体験をする企画です。今年は看護師を志す高校生５名が内科系の病棟で看護体験をし、配膳作業やシーツ交換、血液中の酸素濃度の測定などを実際に行いました。看護体験を終えた参加者は「大変な仕事なのにニコニコと笑顔で仕事ができることに驚きました」と日常では目にしなかった医療現場を経験し率直な感想を述べていました。また、体験前は看護師に対するイメージを問われ「大変そう」と話していた体験者も、「患者さんの体調が少し良くなると大喜びする看護師の方の様子を見て、大変な仕事だが大きなやりがいを感じることができました」と心境の変化を述べていました。

## 兵庫医大フロンティア医療セミナー

第11回(平成25年6月13日開催)

**■神経・筋難病へのとりくみ**

**コーディネータ**
**内科 神経・脳卒中科 診療部長 芳川 浩男**

テーマ:「多発性硬化症と視神経脊髄炎
　　ー変わりゆく疾患概念」
講　師:内科 神経・脳卒中科 助教 笠間 周平

テーマ:「高齢者てんかん患者の病態と治療」
講　師:内科 神経・脳卒中科 准教授 武田 正中

テーマ:「教科書に書いていないパーキンソン病」
講　師:内科 神経・脳卒中科 臨床准教授 梶山 幸司

テーマ:「筋ジストロフィーの早期発見、登録、
　　治療へのとりくみ」
講　師:内科 神経・脳卒中科 講師 木村 卓

第12回(平成25年7月11日開催)

**■医療の質を高めるための薬剤師のアプローチ**

**コーディネータ**
**薬剤部 部長 木村 健**

テーマ:「病棟薬剤業務について」
講　師:薬剤部 主任薬剤師 柳井 美奈

テーマ:「急性医療総合センターにおける薬剤師の役割」
講　師:薬剤部 副主任薬剤師 多田 雅美

テーマ:「院内製剤の調整及び使用に関する指針について」
講　師:薬剤部 副主任薬剤師 田中 邦佳

テーマ:「外来化学療法室における薬剤師の役割」
講　師:薬剤部 副主任薬剤師 藤澤 浩美

## 病院機能評価　訪問受審支援が実施されました

兵庫医科大学ささやま医療センターは、平成２５年９月に本年４月から施行されている新バージョンの公益財団法人 日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審しますが、それに先立ち６月２５日に同機構による訪問受審支援が実施されました。

これは、本審査の受審準備を行うにあたり、経験豊富な診療管理、看護管理、事務管理のサーベイヤー３名に実際に病院訪問をしていただき、具体的な問題点の相談、本審査に向けた全体的なアドバイス等を行っていただく予行演習的なサポートメニューです。

当日は、本番さながらの緊張感の中で、本審査に準じた評価項目（面接調査、書類確認、部署訪問、ケアプロセス調査等）を確認していただき、様々な問題点の洗い出しやアドバイスをしていただきました。

本審査まで残りわずかな期間しかありませんが、患者さんにより質の高い医療が提供できるよう、全力で改善及び更なる質の向上に取り組んでまいりますので、どうかご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

## 七夕会を開催しました

平成２５年７月１０日、ささやま老人保健施設において七夕会を開催いたしました。利用者の方々には、七夕会開催の前から短冊へ願いを書き、笹への飾りつけをしていただきました。短冊には「お父さんといつまでも一緒に暮らしていけますように」という家族を思う短冊が多く飾られています。「氷をがりがり　その音聞けば　お口にじわじわ　涼しさしみる」という素敵な歌を書かれていた利用者さんにお話しを伺うと、「笹の葉さらさら～」の替え歌であると教えてくださいました。たくさんの替え歌をお持ちで、障害者福祉協会から表彰されたこともある腕前だそうです。利用者の皆さんは、短冊に今までの人生を上手に表現されていました。

当日は職員が彦星と織姫、星に扮し、自作の紙芝居「天のはごろも」を朗読、童謡「となりぐみ」「たなばたさま」を利用者の皆さんと歌い、利用者の皆さんはリズムに合わせて手拍子や体操をして楽しい七夕会を過ごされました。

四季を感じていただくレクリエーションの一環として毎年開催していますが、利用者の皆さんには今年も七夕を感じていただけたものと思っております。

ささやま医療センター
ささやま老人保健施設

## 兵庫県看護功績賞　受賞

平成２５年７月２日、平成２５年度兵庫県看護大会において、ささやま医療センター看護部の上谷 幸子看護部長が兵庫県看護功績賞を受賞しました。

兵庫県看護功績賞は、看護業務の向上を図ることを目的に、保健師、助産師、看護師、准看護師で看護業務又は保健指導業務に特に貢献した者に対し贈られる賞です。

長年に渡り地域医療を支えてこられ、高い専門知識と技能を持って看護の発展、向上に尽くされたことに対し表彰されました。

## 篠山キャンパス新看護師等宿舎建設が着工されました。

ささやま老人保健施設南側駐車場の一部に、看護師等の新宿舎を建設するにあたり、平成２５年４月から代替の駐車スペースを確保するため、旧篠山病院の第１・２・３病棟を解体し、新たな駐車場を整備する工事を行っておりましたが、このたび無事に完了しました。

８月中旬からは、本格的な宿舎の建設工事が開始されました。

宿舎は、３階建て全２８室（全室ワンルーム）となっており、平成２６年３月下旬に完成する予定です。